

タイトル 「 研究発表Ⅱ 」

学校名 神奈川工業高等学校 P T A

研究テーマ 「 保護者から見た神工の魅力 」

テーマ選定理由

みなさまのお子様に通われている学校には、それぞれ様々な特色があるかと思えます。

私たちの「神工(かなこう)」もたくさんの特色があり、魅力溢れる学校なのです。それをこの提案発表の機会に「我が子がこの学校で学べて良かった!」という気持ちをお伝えしたく、このテーマを選定しました。

工業高校とは

ものづくりに関する知識・技術を身に付け、次代の地域産業を支え、発展させる人材の育成を行う高校のことです。本校にある機械、電気、建設、デザインなどをはじめ、たくさんの分野の学科があり「ものづくり」の現場で必要とされる伝統的な技術や最先端の技術を学びます。

工業高校は数が少ないことから情報が少なく、「やんちゃな生徒が多い」「勉強が苦手?」といったイメージで語られることもあるかもしれませんが、現在の神工の様子をお伝えすることで、そのイメージと同じかどうか知っていただく機会になればと思います。

1. 学校紹介

1911年の明治期に設置され、今年で113年を迎える神奈川県最初の工業高校。交通アクセスは3路線3駅利用可能で、東横線においては徒歩3分、他の駅を使っても徒歩で10分以内という好立地。神奈川総合高校と同じ敷地内です。

校舎は耐震構造の10階建てで、みなとみらいを一望できる景色のいい環境で学んでいます。司書の方も常駐する図書室には多くの本があり充実しています。

ほかには屋内温水プール、夜間照明付きのグラウンド、全天候型テニスコートもあり部活動も活

発に行われています。食についても充実しており、メニュー豊富な食堂と、近隣でも評判のパン屋さん販売する購買が常設しています。

制服はアメリカで誕生したトラディショナルブランド J. PRESS のコラボ制服を採用。専門高校ということもあり、定期的に身だしなみについて指導を受けています。

O Bの活動も盛んで同窓会内での活動はもちろん、現役生へも設備の寄贈や部活のサポートなどの支援をして頂いています。



2. 各科の魅力

機械科、電気科、建設科、デザイン科の4つの専門科があります。

■機械科

機械に関する基礎・基本を学び、新しい産業構造に対応できる創造



性豊かな能力と確かな技術力を身に着ける授業を行っています。特にメカトロニクス技術の実験や、実習を積極的に取り入れ、実践的な技術者の育成を目的としています。



■電気科

電気・電子・情報に関する技術を学んでいます。電気回路やエネルギー、プログラミングをはじめとする通信技術などの分野について学習し、2年次から【電気コース】と【情報コース】を選択することで、より専門分野の学習を深めることができます。

将来の建築技術者として、建築設計、建築施工に関する技術を実習・実験を通して学び、本校在学中に2級建築施工管理技術検定試験、卒業後は2級建築士の合格を目標としています。充実した設備も自慢です。

■建設科

将来の建築技術者として、建築設計、建築施工に関する技術を実習・実験を通して学び、本校在学中に2級建築施工管理技術検定試験、卒業後は2級建築士の合格を目標としています。充実した設備も自慢です。



■デザイン科

工業製品や環境構成に関するプロダクトデザイン、および広告や印刷に関するビジュアルデザインの基礎を学んでいます。各種のポスターコンクールやデザインコンペにも挑み、実践的な力も養われています。

科別、クラスごとの縦割チームで、学年の枠を飛び越えた編成です。科別にパネル製作も行い、工業高校ならではのクオリティの高さです。また、特攻服を纏った気合の応援合戦や、神工オリジナルの相撲体操は男子も女子も、生徒全員が四股を踏む姿に迫力を感じます。

■体育祭

科別、クラスごとの縦割チームで、学年の枠を飛び越えた編成です。科別にパネル製作も行い、工業高校ならではのクオリティの高さです。また、特攻服を纏った気合の応援合戦や、神工オリジナルの相撲体操は男子も女子も、生徒全員が四股を踏む姿に迫力を感じます。

また、特攻服を纏った気合の応援合戦や、神工オリジナルの相撲体操は男子も女子も、生徒全員が四股を踏む姿に迫力を感じます。

また、特攻服を纏った気合の応援合戦や、神工オリジナルの相撲体操は男子も女子も、生徒全員が四股を踏む姿に迫力を感じます。

■文化祭

10月下旬に「神工祭（じんこうさい）」を開催。校門のアーチは建設科が足場を組んで設置。機械科はイヤーマodelの文鎮を切削機械で作成。デザイン科は力作揃いの制作物を展示。

後夜祭では校舎の壁を使ったプロジェクションマッピングを電気科の生徒が作りおおいに文化祭を盛り上げました。

3.活発な部活動と表彰実績

本校は「ガクチカ」つまり、「学生時代に力を入れたこと」のひとつとして部活動を推奨しています。運動部は19、文化部は16、同好会は3つあります。

野球やサッカー、水球や陸上の運動部や、ロボティクスや写真といった文化部も、ともに全国大会などで数々の記録を残しています。

神奈川県内の中学・高校を対象とした、教育委員会主催「かながわ部活ドリーム大賞」において令和4年度にグランプリを受賞。部活文化賞にアマチュア無線部、水球部はキャプテン賞と、マネージャー賞を受賞しました。令和5年度はキャプテン賞をサッカー部が受賞しました。

また、神奈川県の県立学校の児童・生徒表彰についても毎年多くの部活などの団体や、個人の活動が表彰されています。これは学校が生徒の活動を認めて、積極的にエントリーしてくださった結果です。表彰されることで、生徒の自信に繋がっています。

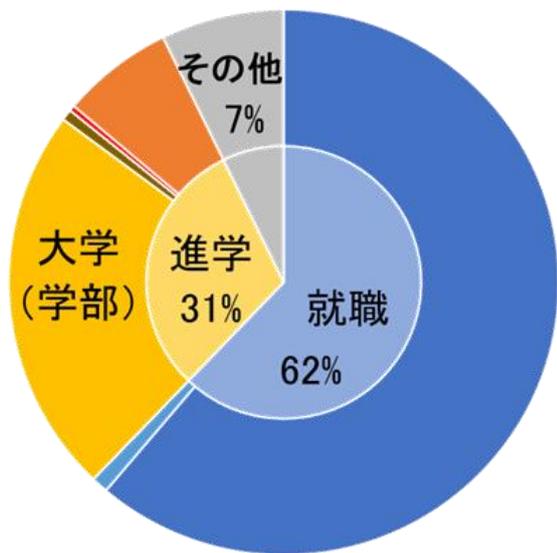
4.手厚い進路指導

昨年度の卒業者の進路状況についてです。進学はたくさんの指定校や学校推薦を利用し、理工系や美術系の学校へ進学する生徒が多いです。

就職は3,000社を超える企業からの求人があります。生徒の企業訪問体験、企業説明会とは別に「保護者向け」に人事担当者が来校しての企業説明会も実施してくれます。また、企業に勤務していた先生も多く在籍されており、経験に基づくアドバイスもいただけます。

近年では大手企業と各専門学校との産学連携協定を締結し、コンソーシアム（※）の人財育成計

画が推進されています。(※) コンソーシアム：共通の目的を持つ複数の組織が協力するために結成する共同体



【 機 械 科 】

日産自動車、日産自動車大学校と本校とでのコンソーシアムが締結

【 電 気 科 】

IBMやソフトバンクと連携して未来のIT人材育成を目指す

「かながわP-Tech」に取り組む

【 建 設 科 】

清水建設と連携する「次世代建築リーダー育成コンソーシアム」を締結

【デザイン科】

令和5年度4月開校「県立横浜瀬谷高等学校」校章デザインコンテスト最優秀賞を受賞し、校章として採用。ほかにも多数のコンクールやデザイン公募で優秀な成績を得ている

5.PTA 活動

それぞれ目的を持った3つの委員会と本部で構成されています。

◆本部

各委員会との橋渡し役。

また今回のような、学校を代表して発表する際には中心となって活動します。



◆学級委員会

保護者の立場から、学校環境の整備を支援しています。学校の顔である校門脇の花壇の整備も対応しています。文化祭での「焼きナポリタン」も大人気です。



◆広報委員会

会員相互の連絡と親睦を目的として、広報紙の作成をしています。

神工の広報誌は読みごたえがある内容で、発行を楽しみにしている保護者も多くいます。



◆成人委員会

会員の教養を高めるため観劇、陶芸教室や進路説明会などを開催し、保護者の横の繋がりの場も作っています。文化祭で販売するハンドメイド品も充実したラインナップです。



最後に

様々な神工の魅力をお伝えしてきましたが、皆様はどこを1番の魅力と感じたでしょうか。その中で先生、保護者、OB方の熱い気持ちや指導、フォローがあり、子どもたちが生き生きと学校生活を送ることができていると感じる度に、感謝の気持ちが溢れてきます。

これからも神工の歴史や絆が縦にも横にも繋がるよう、PTAも全力で協力していきたいと思っています。

